

2022 年度 第 1 回 6 月北大本番レベル模試地理 採点基準

1 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは 0 点。

2 論述問題

① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。

② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

3 共通減点基準

① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは 1 点減点。

② 下線の付け忘れは 1 点減点。

③ 指定用語不使用は 1 点減点。

④ 字数オーバーは 1 点減点。

*減点しなくていい要素，その他の注意

① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇔スロベニア，パキスタン⇔パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。

② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は 0 点だが，減点はしない。

③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

④ 文章が未完のものも減点しない。

4 採点記号について

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実に誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

5 設問別加点基準

- 1) _____ 部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。
- 4) 「 A 」が「 B 」→1 点 は、「 A 」と「 B 」の両方の要素があれば 1 点加点する。

1

問 3 6 点

稲作に利用する水資源が融雪水起源の低温で斜面を流れる急流なので、生産性を向上させるために堰を多く作って流れを遅くして日射により水温を上昇させるようにしている。

【加点ポイント】

- ① (主要農産物として) 稲／米 →2 点
- ② (堰の効果) 流れを遅くする／河川水の滞留時間を長くする →1 点
- ③ (堰の目的) 川の水温を上げる／融雪水を温める →2 点
- ④ (③の熱源として) 日射／日光／太陽 →1 点

問 5 4 点

丘陵に取り囲まれた標高約 2mの水田の低地の中に、針葉樹や広葉樹に覆われた標高 10m前後の小山が島状に点在している。

【加点ポイント】

- ① (主な土地利用) 水田／田 →1 点
- ② (地形の特徴) ①の中に小山が点在する／小さな森がいくつも分布する →1 点
- ③ (その他) ・水田は丘陵に取り囲まれている
 ・水田の標高は 2～3mである
 ・小山には針葉樹 (や広葉樹) が生えている
 ・小山は標高 10m前後である

}	1つ1点
}	2点まで

問 6 4 点

湾の入り口に沿岸流が作った直線的な砂州が形成されることによって湾が外海から隔てられる。

【加点ポイント】

- ① (形成要因) 砂州の発達 (形成) /沿岸州の発達 (形成) →2 点
- ② (①の要因) 沿岸流 →1 点
- ③ (①の結果) 湾 (海の一部) が外海から隔てられる
 /海の一部が閉じ込められる →1 点

問 8 理由 3 点

電子部品など、製品が小型かつ高付加価値で、国内外の拠点を結んだ分業体制の一角を担う工場が多いため、機動的で利便性の高い自動車輸送が必要となる。

【加点ポイント】

- ① (主要な製造業) 電子部品工業／電子部品／半導体／IC 工業 →1 点
- ② (①の特徴) 高付加価値である／製造費に占める輸送費の割合が小さい →1 点
- ③ (①の特徴) 分業が進む／国内外に製造拠点が分散する
／他の工場と部品をやり取りする
／部品を機動的に (需要に応じて) 輸送する必要がある →1 点

問 8 課題 3 点

沿岸部では鳥海山の斜面が海岸線に迫って道路整備が難しく、また、冬季の豪雪で輸送の安定性が確保できない。

【加点ポイント】

- ① (地形的課題) 沿岸部まで山が迫る／山がちで平地が少ない →1 点
- ② (①により) 道路整備が難しい／高速道路が途切れている →1 点
- ③ (気候的課題) 豪雪地帯である／積雪による通行止めが起きる →1 点

2

問 3A 説明 3 点

冬に凍結した川が春に低緯度の上流から融け始めるが、下流域は凍ったままなので、せき止められる。初夏に気温が高くなると、一気に周辺の積雪が融けて洪水となる。

【加点ポイント】(※「問 3A 河川名」の可否は問わない)

- ① (洪水の季節) 初夏／春 →1 点
- ② (要因) 融雪水が流れる／雪が融ける →1 点 (※「凍った川が融ける」では加点しない)
- ③ (要因) 下流は (川が) 凍結したままである →1 点

問 3B 説明 3 点

流域の大部分が、モンスーンの影響で雨季と乾季が明瞭な気候である。雨季には河川水量が増大し、9～10 月には下流域で洪水が起きて被害が発生する。

【加点ポイント】(※「問 3B 河川名」の可否は問わない)

- ① (洪水の季節) 雨季／夏／秋 →1 点
- ② (要因) モンスーン (季節風) による降雨 →2 点

問 5 6 点

低気圧の接近で急激に気圧が低下し、海水が吸い上げられて海面が上昇する。また、海上から陸上に向かって絶え間なく強風が吹くことによって海水が吹き寄せられて海面が上昇する。

【加点ポイント】

- ① (要因 1) 低気圧／熱帯低気圧／台風 →1 点
- ② (①により) 気圧 (大気圧) が低下する →1 点
- ③ (②の結果) 海水が吸い上げられる／海面の吸い上げ (吸い上げ効果) が起こる →1 点
- ④ (要因 2) 強風 →1 点
- ⑤ (④の風向き) 海から陸 (海岸) へ吹く／湾口から湾奥へ吹く →1 点
- ⑥ (⑤の結果) 海水が吹き寄せられる／海水面の吹き寄せ (吹き寄せ効果) が起こる →1 点

問 6 4 点

COP21 では参加国全てに温室効果ガス削減の数値目標を課したが、COP3 では、いわゆる先進国のみ数値目標を課した。

【加点ポイント】

- ① (COP 3 では) 数値目標は先進国のみに課された
／排出削減の義務は先進国に限定された
／排出削減の義務は途上国には課されなかった →3 点
- ② (COP21 では) 全ての国に温室効果ガス削減の数値目標 (義務) を課した →1 点

問 7 4 点

二酸化炭素を主とする温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることで、結果として温室効果ガスの増大分をゼロにするという考え。

【加点ポイント】

- ① (対象として) 温室効果ガス／二酸化炭素 →1 点
- ② (考え方) ①の排出量と吸収量を同等にする
／①の排出分を吸収分で相殺する →3 点
(※「温室効果ガスの増大分をゼロにする」のみ →2 点)

3

問 2 6 点

原料より製品が軽くなるセメント工業は原料指向型工業であり、主原料である石灰石の産地に立地しやすい。一方、普遍原料である水が主原料のビール工業は市場指向型工業であり、大都市近郊に立地しやすい。

【加点ポイント】

- ① (セメント工業は) 原料産地に立地/原料指向型工業である →1 点
- ② (セメントの原料) 石灰石/石灰岩 →1 点
- ③ (①の理由) 原料より製品が軽くなる/重量減損原料である →1 点
- ④ (ビール工業は) 大都市近郊に立地/消費地近くに立地/市場指向型工業である →1 点
- ⑤ (ビールの主原料) 水 →1 点
- ⑥ (④の理由) 水は普遍原料である/水はどこでも手に入る
/製品は缶・びん分の重量が増える →1 点

問 3 6 点

初めは炭田付近に立地したが、熱効率の向上で石炭使用量が減ると、鉄山付近の立地が増えた。また、資源の枯渇と低品位化によって高品位な鉄鉱石を輸入するようになると、臨海部に立地するようになった。

【加点ポイント】

- ① (当初の立地場所) 炭田付近/石炭産地の近く →1 点
- ② (①の次の立地場所) 鉄山付近/鉄鉱石産地の近く →1 点
- ③ (①から②への理由) 熱効率の向上で石炭使用量が減った
/エネルギーロスの減少により石炭の使用量が減った →1 点
(※「石炭使用量が減った」のみでは加点しない)
- ④ (②の次の立地場所) 臨海部/港湾近く/海岸付近 →1 点
- ⑤ (④の理由) 鉄鉱石を輸入するため/原燃料を輸入するため →1 点
- ⑥ (④⑤の理由) 資源の枯渇/鉄鉱石の低品位化/高品位な鉄鉱石を輸入するため
/低価格の石炭を輸入するため →1 点

問 6 6 点

関連しあう工場が特定の場所に集中して立地することを集積という。部品等の関連工場を多数必要とする自動車工業は、輸送の費用や時間の節約、情報交換の容易性などの面で集積立地が有利である。

【加点ポイント】

- ① (集積とは) 関連工場が集中して立地すること
/組立工場の近隣に関連部品の工場がまとまって立地すること →2 点
(次ページに続く)

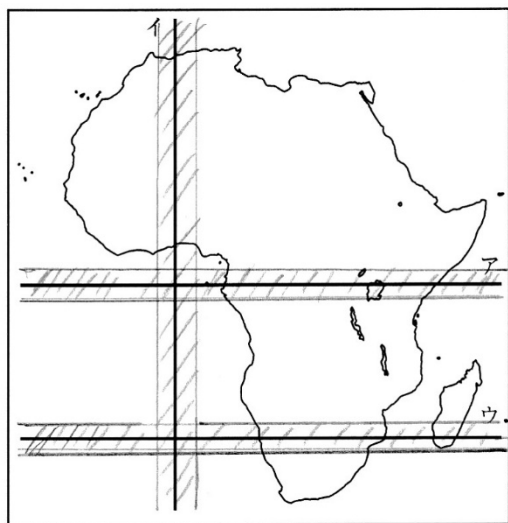
- ② (自動車工業は) 部品等の関連工場を多数必要とする／部品や資材の種類が多い →2 点
- ③ (②の集積の利点) 輸送費用の節約／輸送時間の節約／部品や資材の在庫量の削減
／技術情報交換の容易性 →2 点

4

問 1 各 1 点

下図の斜線部を許容範囲とする。

「ア」「イ」「ウ」の表記がなければ加点しない。



問 3 10 点

Xのサハラ砂漠は年間を通じて中緯度高圧帯に覆われる回帰線砂漠であり、Yのナミブ砂漠は寒流であるベンゲラ海流の影響で空気が冷やされ上昇気流の発生が抑えられる海岸砂漠である。

【加点ポイント】

- ① (Xの名称) サハラ砂漠 →1 点
- ② (Xの成因の種類) 回帰線砂漠／中緯度砂漠／亜熱帯砂漠 →1 点
- ③ (Xの成因) 「年中／年間を通じて」＋「中緯度高圧帯の影響を受ける」→2 点
- ④ (Yの名称) ナミブ砂漠 →1 点
- ⑤ (Yの成因の種類) 海岸砂漠 →1 点
- ⑥ (Yの成因) 寒流 →1 点
- ⑦ (⑥により) 空気(の下層)が冷やされる／大気の逆転が起きる →2 点
- ⑧ (⑦により) 上昇気流が起こりにくい／大気が安定する →1 点

問 5 6 点

この国で産出される銅鉱石は、鉄道や自動車で大西洋・インド洋岸に運ばれ、沿岸国の港湾で船（バルクキャリア・ばら積み船）に移されて消費国へと運ばれていく。

【加点ポイント】

- ①（資源名）銅鉱石／銅鉱 →2 点
- ②（最初の輸送先）大西洋岸／インド洋岸／沿岸国／沿岸部／隣国の港湾
／タンザニア／アンゴラ／南アフリカ共和国 →1 点
- ③（②の輸送方法）鉄道／タンザン鉄道（タンザニア・ザンビア鉄道）
／ベンゲラ鉄道／自動車／トラック →2 点
- ④（②から消費国への輸送方法）船／バルクキャリア／ばら積み船／タンカー →1 点

問 6 14 点

両国とも原油の輸出に財政を依存しているが、F 国のリビアの旧宗主国イタリアは原油を輸入に依存するため近隣のリビアからの輸入が多く、リビアの輸出先 1 位となっている。一方 G 国のナイジェリアの旧宗主国イギリスは産油国であり原油の輸入は少ないので、ナイジェリアの輸出先の上位に含まれない。

【加点ポイント】

- ①（共通の輸出品）原油／石油 →2 点
- ②（F の国名）リビア →2 点
- ③（F の旧宗主国）イタリア →2 点
- ④（③が輸出先 1 位の理由）イタリアは原油を輸入に依存する
／イタリアは原油の産出が少ない →2 点
- ⑤（G の国名）ナイジェリア →2 点
- ⑥（G の旧宗主国）イギリス →2 点
- ⑦（⑥が輸出先でない理由）イギリスは産油国である／イギリスは原油の輸出国である
／イギリスは北海油田を有する
／イギリスは原油の輸入が少ない →2 点